

雜報

龍南會大正四年度決算報告

收入ノ部

通常會員會費	二、三四六、六〇
名譽會員寄付	六五〇、三一
新入會員入會金	二七三、〇〇
預金利子	一〇、三六
雜收入	二、二一
寄附金	六、〇〇
前年度繰越	一六三、九五
合計	三、四五二、四三
支出ノ部	
端艇建造積立金	三三五、〇〇
基本積立金	一一、〇〇
演說部	八一、二五
雜誌部	四八〇、八四

擊劍部	二〇九、三九
柔道部	二〇八、五二
弓術部	一一四、四一
野球部	一九一、六〇
庭術部	一九九、二〇
端艇部	三六九、五〇
水泳部	一〇六、四四
無所屬	七三五、五〇
各部撰手遠征旅費	三三〇、〇〇
豫備金支出	二、六八
翌年度ニ繰越	八七、一〇
合計	三、四五二、四三

高田文相來校

九州に於ける學務視察の途次、五月六日本校にも來校せられ、尙當日午后三時より武德殿に於て専門學校生徒に對する御講話あり。本校生徒も多數參集せり。

## 御眞影奉安所新築落成式

御大典記念として起工せられし御眞影奉安所は愈々其工を終り六月十日午前七時三十分より、新緑蒼々たる武夫原に於て落成清祓式舉行せらる。神職の祝詞に次いで吉岡校長及び大野総務の式辭あり、三十分の后式を終る。此日連日の霖雨名残り無う晴れて藍青の空微かに白雲の影を浮べ、滴々たる艸露今朝しも一入赫々たる紅暎に燦々として輝きぬ。崇美なる原頭又一段の森嚴を添ふ、寔に龍南の一大慶事たらざるは非ず。

## 歴史は亡ぶ

二十年の長き貴き珠玉の歴史、其の歴史を懷抱して或は月の夕又は暴風雨の朝、嚴然たる姿を武夫原頭に保ちて、兎もすれば輕浮翩翩々、空しく一陣の微風に奪ひ去られんとする剛朴思想の文鎮となり、良く所謂五萬魂の幻滅を防いで最後まで蕩々たる濁世の浪を堰きし龍南の至寶たる南寮々舎は、森羅盡く新生命に浴して是より活躍せんとする新緑の頃、痛ま

しくも遂に倒壊されたり。悲しき思ひ出の殘骸は朝に夕に龍南より姿を消し丁々々々の音に新寮舎は成らんとす。此の破壊と此の創造、吾人其幸不幸を不辨。(縁)

## 編輯を了りて

△悠久な蒼窮、無限の白日、そして僅々百數十頁の小冊子。一步離れて冷視すれば、塵とも見ねよう埃とも思はれよう。然しながら翩翩たる此の小誌も、小さい心を碎いて直接編輯の任に當り、暑い苦しい幾日かを校正に煩はされた吾々の疲れし腫には、漂渺として涯無き熱砂の原を常住に悠々たる姿にて不斷に流る、ナイルの河畔に、嘯帆として天をより立つ彼の金字塔よりも遙かに大きな姿であります。

思へば惱みの長の漂泊。身に余る肩の重荷に、踏み馴れの憂愁の山路を喘ぎ辿りし吾々は、今憧憬れの黄金の扉を白金の鍵もて押し開き、渴望の泉を盃に酌みて過ぎし悶々の夢を覺まして居ます。さはれ前途は未だ遠い、吾々はやがて又哀愁の

時にかゝらねばなりません。

△吾々の最も惱んだのは印刷費暴騰でありました。

爲に頁數を減じ有らゆる方面で窮屈な思ひをせねばなりませんでした。吾々にとつて頁數の削減は眞に文字通りの身を切る辛さです。此の點から望む場合には鞘を拂つたカイザアの劍を深く呪咀せずには居られません。

願れば痛ましい灰色の陽光に陰慘な月日は逝き逝いて既に二星霜。流石に鈍感な吾々の神經も何等かの感無きを得ないのであります。蓋し吾々の最も深甚に感ずるは大和民族の絶對的獨立、醇乎として醇なる日本文明の創造であります。何時までも翻譯模倣の頽唐的空氣に沈湎して居る可きでは無い、今や我國は速かに此の零圍氣から蟬脱して根柢を我民族性に置ける潑瀾たる新文明を獨創し、日本人特有の思想と生活の韻律を高潮すべき純美な黎明に臨んで居ると思ひます。恁うした考へから翻譯文を御斷りしました。勿論淺才な吾々に恁んな偉業の遂げられざるは自明の理であります。唯吾々は日本國民の一分子として細くとも恁

うした叫びを揚げて力んで見たいのであります。

成就の殿堂には達すべくも無い。然し乍ら假令闘ひ疲れて、黄く悲しき冬の日没、枯艸蕭索たる武夫原に淋しい屍を曝すとも、春さりくれば莖となり、或は又新緑の頃、曉風瑟瑟たる原頭に半殘の夢を追想する一莖の月見艸ともなるだらうかと思ふのであります。及ばぬ才は嘲罵冷笑に委ねます、唯比の無邪氣な意氣をあごけないものだと可愛がつて下さい。

△貴重な時間を快く割與されて、親しく實地に見聞せられ御考究になつた事を、久しい間御歸朝を待ち焦がれて居た龍南の子弟に御示しになる爲に、巻頭にペンを取られた戸澤教授に對し厚く感謝の辞を捧げます。尙又忙しい學年末に幾分の犠牲をも顧慮せず、進んで御投稿して下さい諸君にも深謝します。恁うした同情ある人々こそ吾々に白金の秘鍵を授けて下さるのです。

△今度は短歌が頗る豊富に手に入りましたが悲しい哉例の紙數削減の爲多數の立派な歌を削除しなければなりませんでした。御投稿諸君に深く御詫す

ると全時に吾々も亦甚だ遺憾とする次第でありま  
す。

△歌と云へば誰しも想起する龍南歌壇の明星にして  
、本年度委員に當選せられて居た古野秀谷君の計  
報は共に机を並べてペンを握るべきであつた吾々  
をして暗い嘆きを抱かせました。悲愁の泪に暮れ  
つゝ聊か哀悼の辞を記します。

△今年も亦懸賞文募集をします。從來どうも應募者  
が少くつて頗る困つてる様ですが今年はどうがな  
して其様な苦い經驗を嘗めたくないものだと思ひ  
ます。七旬の長い休みの間に競うて筆を馳せ卓技  
の見を發表されん事を祈ります。

△編輯を始める頃は未だ初々しく淺緑に輝いて居た  
若葉の面に、校正を了つた今日ではもう暗色が覗  
く様になりました。赤黄いろかつた校門内のサク  
ランボオが比頃はすつかり黒染んでツイて飛ぶ燕  
の羽光りが鋭く疲れた眼に映じます。海から三里  
を離れた龍南にも仄かに汐の香を含んだ微風が訪  
れて、紺青の宮殿裡の樂しくも麗しき物語を聞き  
ます。我がて近づく長の休みに蘇生つた様に深い

呼吸をして、零露に映る白銀の星の姿に床しい幾  
つかの朝を迎へられる諸君の幸福を衷心から祝し  
ます。

△例により新委員の姓名を次に列舉して迂りの悪い  
腐れペンを投じます。(鐵耶)

佐々弘雄 高木千丈  
牛原清彦 井田哲  
笹山忠夫

### 寄贈雜誌

學友會誌	一四、一五	京都帝國大學々友會
無盡燈	二四二マテ	京都眞宗大谷大學
禪學雜誌	六月號	東京曹洞宗大學和融社
校友會誌	四九、五〇	東京高等師範學校々友會
十全會雜誌	一二三マテ	金澤醫學專門學校十全會
研瑤會雜誌	二二五マテ	長崎醫學專門學校研瑤會
校友會雜誌	一八、一九	熊本醫學專門學校々友會
校友會雜誌	一六	九州藥學專門學校々友會
學友會報	九九マテ	神戸高等商業學校學友會
學友會報	五四	山口高等商業學校學友會
校友會報	五	千葉縣立高等圓藝學校々友會
西海藥報	一四一、一八	下通二丁目西海藥報社

校友會雜誌	二五五マテ	第一高等學校校友會
尙志會雜誌	一〇四	第二高等學校尙志會
嶽水會雜誌	六二	第三高等學校嶽水會
北辰會雜誌	七五	第四高等學校北辰會
校友會雜誌	四四、四五	第六高等學校校友會
學友會雜誌	三四	第七高等學校學友會
校友會雜誌	一六、一七	第八高等學校校友會
櫻桂會誌	五	關東都督府中學櫻桂會
校友會雜誌	四九	東京麻布中學校々友會
桃	五六	大阪府立天王寺中學校友會
大禮紀念號		大阪府立八尾中學校々友會
大禮紀念號		福岡縣立中學明善校燭々會
風	四三	長崎縣立中學猶興館興風會
學友會誌	一	熊本第二師範學校學友會
校報	一三	島根縣立商業學校
白鷺	二八	熊本縣立八代中學校友會
總城	二五	廣島縣立廣島中學校友會
誠之會誌	二一	同 福山中學校友會